

不二越とノズルで提携

表面改質 処理委託 環境対応型を拡販

テンコーポレーション

テンコーポレーション(東京都中央区、増俊幸社長、03・3669・1119)と不二越は、工作機械の切削油供給用フラットノズルで業務提携する。テンが輸入販売する同ノズルを不二越が表面改質処理し、テンは6月中旬に環境対応型ノズルとして販売する。将来は不二越も独自販売を視野に入れる。技術や販路で協業し、両社で同ノズルを拡販する方針だ。

前後を予定。テンは工作機械の加工工場を中心に営業し、06年度に100

0個の販売を見込む。

一方、不二越も工作機械や砥石、フラットノズル、濾過フィルターを一体化した環境対応型加工システム「コイルトレイションシステム」を開発している。同システムの中で順次、ノズルを環境対応型への切り替えを進

める。さらにユーザーニーズを踏まえ、同ノズル単体でも試験的に販売する計画。販売体制が整えば切削工具などの自社製品と併せて本格販売し、業務の拡大につなげる。

テンと不二越は05年に環境対応型ノズルの共同研究を開始。不二越は円筒研削盤用のクーラント(冷却液)ノズルとして検証を重ねてきた。

その結果、冷却液の消費削減や砥石の摩耗軽減などにも有効なことを確認し、独自の熱処理とタン液膜で耐久性を高め

業務提携ではテンコーポレーションがスウェーデンのシルベントから輸入しているスプレンス製フラットノズル2種類を、不二越が熱処理とタン液膜加工をする。同ノズルは低騒音のほか、切削油使用を減らせるのが特徴。両社は提携で基本合意しており、5月下旬に正式調印する。

販売価格は幅23

・6.×長さ40.

材のタイプを8万

円前後とする方向

で詰めている。幅

01.×長さ80.の

タイプは8万円



研削盤に設置した環境

対応型フラットノズル